

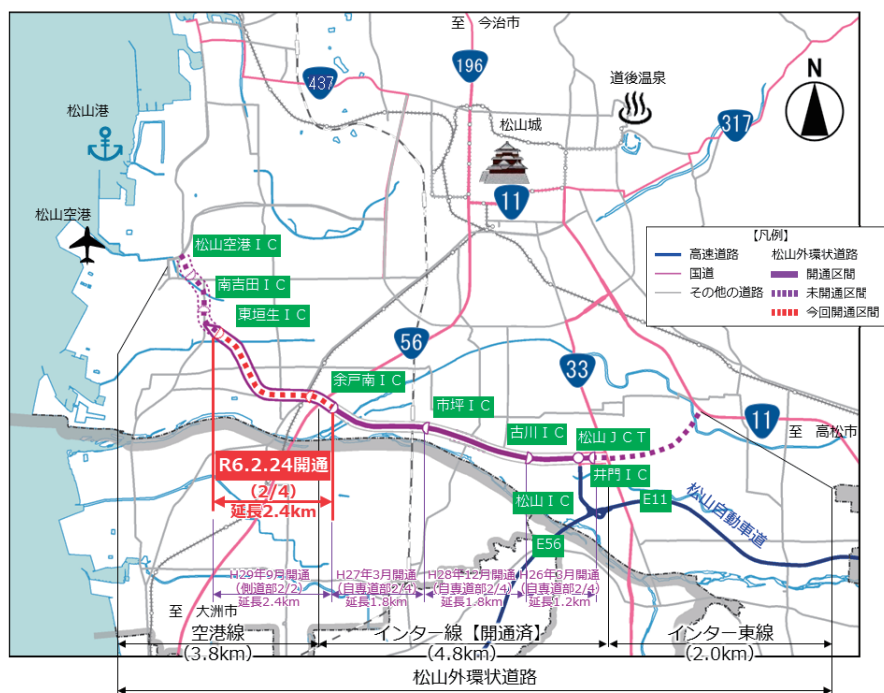
一般国道56号 松山外環状道路 空港線 (余戸南 IC～東垣生 IC) 開通

四国地方整備局 松山河川国道事務所

1. 事業概要

中四国地方で第3の人口を誇る松山市は、松山城を中心として直轄国道である4路線（国道11号・33号・56号・196号）をはじめとした幹線道路が放射状に延びており、それらを結ぶ松山環状線（国道・愛媛県道・松山市道で構成）への負荷が非常に大きく、道路混雑が慢性化している状況でした。

松山外環状道路は、現状の松山環状線より外側に環状の自動車専用道路を整備するプロジェクトです。そのうち国道56号～松山空港間にあたる「空港線」は、平成20年に都市計画決定され、平成21年に事業化し、「インター線」に続いて、令和6年2月24日に一部区間である余戸南 IC～東垣生 ICが開通しました。



▲開通後の余戸南 IC 付近の様子



▲国道56号を跨ぐ橋梁架設の様子

2. 開通記念イベントおよび開通式典

開通に先立つ令和6年2月12日（月・祝）には、松山市と松山河川国道事務所により開通記念イベントを開催しました。

イベントでは、開通後には自動車専用道路となり徒歩や自転車では立ち入れなくなる本線上で、ランニング・ウォーキング・サイクリングを楽しんでいただきました。事前の想定を大幅に上回る約3,600人の方々にご参加いただき、開通に対する地域の期待の大きさが感じられました。



▲ランニングイベント



▲ウォーキングイベント



▲サイクリングイベント



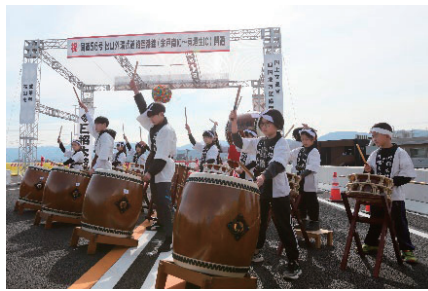
また、開通当日の令和6年2月24日（土）には、関係国会議員、愛媛県知事、松山市長など約180人が出席して開通式典が執り行われ、その後、現地にてテープカット・くす玉開披・通り初めを執り行い、16時から一般車両の通行を開始しました。



▲テープカット・くす玉開披



▲地元中学校の吹奏楽演奏



▲地元保存会の和太鼓演奏

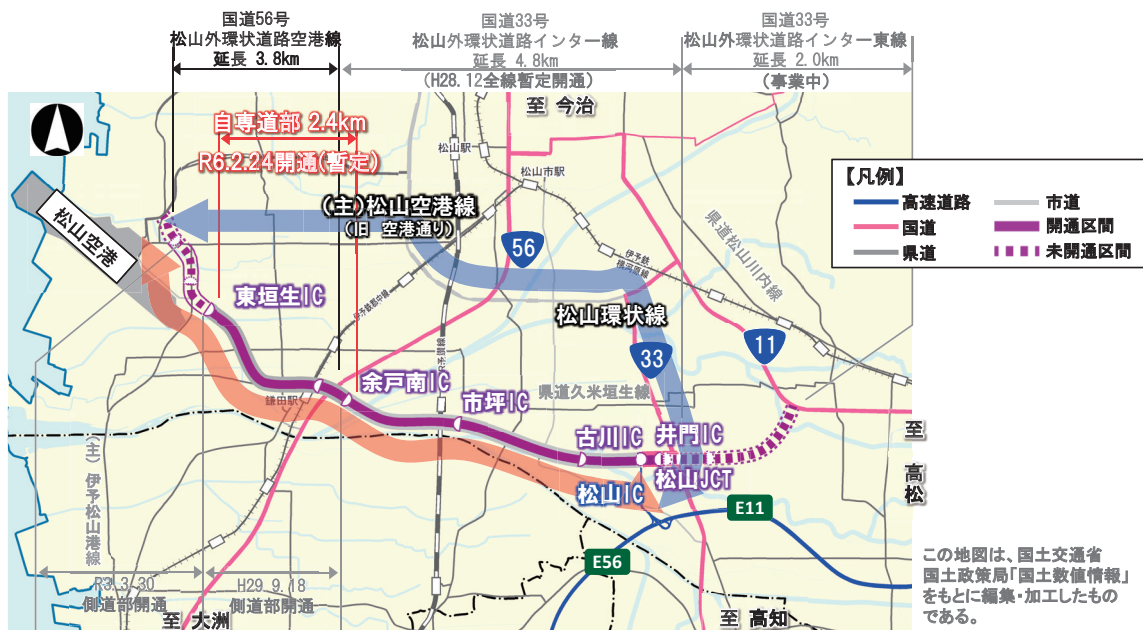


▲通り初め

3. 開通による効果

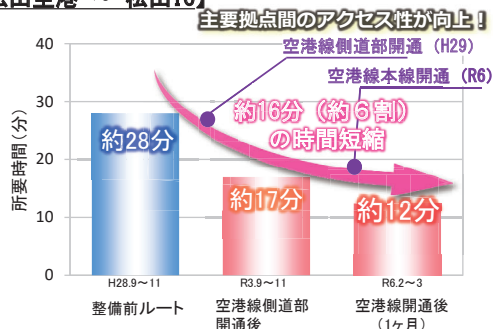
松山外環状道路 空港線（余戸南 IC～東垣生 IC）の開通により、周辺では多くの効果が期待されます。

1つ目は、松山空港への速達性と定時性の向上です。従前、愛媛県内を貫く松山自動車道の松山 IC から松山空港へ向かう場合は、交通量の多い松山環状線を含む市内の幹線道路を経由する必要がありました。それが今回の開通により松山 IC と松山空港が自動車専用道路でほぼ繋がり、所要時間は約 28 分から約 12 分まで 16 分短縮されました。また、信号のある従来のルートから自動車専用道路にルートが変わったことで、所要時間のばらつきが小さくなり、定時性の求められる空港アクセスに適したルートにもなりました。



所要時間の変化

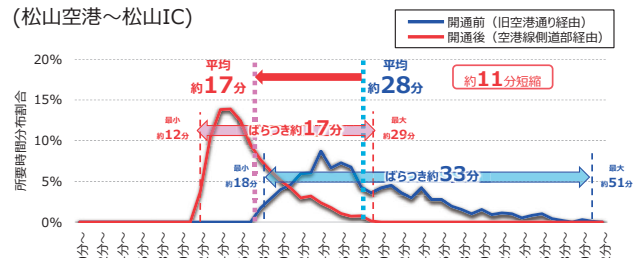
【松山空港～松山IC】



▲松山空港～松山 IC の所要時間とそのばらつきの変化

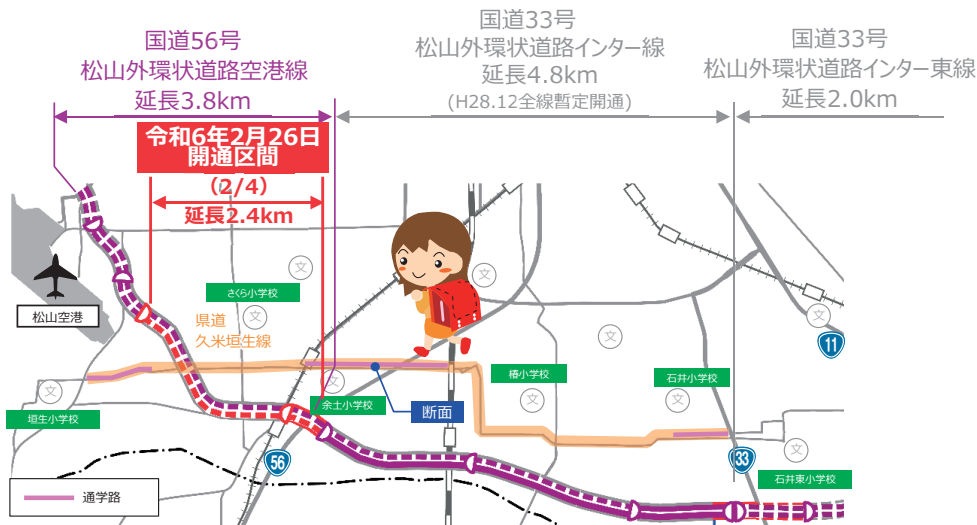
所要時間のばらつき変化 (これまでの開通による効果)

(松山空港～松山IC)

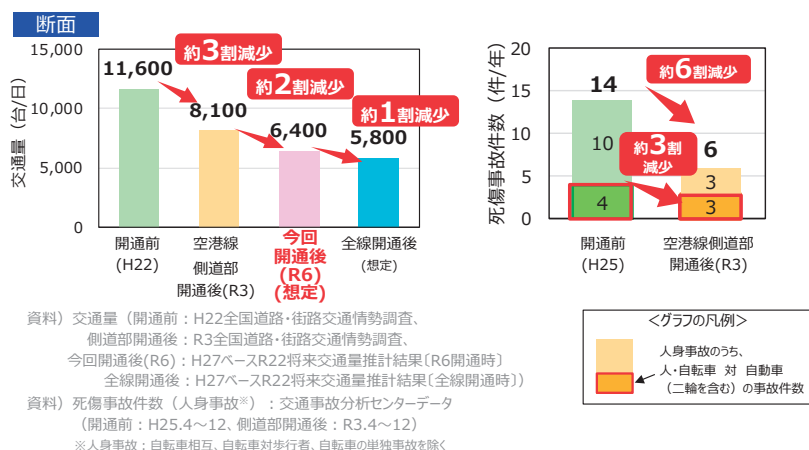


2つ目は、周辺道路の安全性向上です。今回の開通区間を含む松山外環状道路に並行している道路の多くは、場所によっては中央線が引かれていないなど道路幅が狭く、歩道が整備されていない区間も多くあります。それらを抜け道として利用する車両が減少し、周辺の複数の小学校に通う児童をはじめ歩行者の安全性が向上することが期待されています。

＜県道久米垣生線：通学路の交通状況の変化＞



▼県道久米垣生線 交通量の変化



▲松山外環状道路に並行する県道久米垣生線の変化

4. おわりに

今回開通した松山外環状道路が松山の未来を明るく繋ぐ道路になることを願うとともに、当事務所では、引き続き松山外環状道路 空港線の残り区間およびインター東線の整備をはじめとした道路・河川事業を推進し、愛媛県中予・東予地域の経済発展や安全・安心の確保に取り組んでまいります。



▲舗装前の道路に絵を描く幼稚園児

<https://www.skr.mlit.go.jp/matsuyam/>

松山河川国道 で検索!



https://twitter.com/mlit_matukakoku

@mlit_matukakoku

松山河川国道事務所X
通行止めなど、いろいろな情報発信中!

